

## 平成 21 年度第 3 回理事会議事録

日時：平成 21 年 6 月 26 日（土）  
12：00～12：40  
場所：名古屋市立大学 北千種  
キャンパス 管理棟 3 階会議室  
出席者：青木（弘）、蓮見、尾登、  
青木（幹）、荒井、君島、  
工藤、國本、黒川、小林、  
杉山、坪郷、長谷、生田目、  
原田、降旗、古屋、松岡、  
村上、渡辺、國澤、寺内、  
小野  
委任状出席：青木（史）、伊豆、岡田、  
岡本、勝浦、河原林、久保、  
田村、梨原、野口、宮崎  
欠席者：阿部、山中  
名誉会員出席者：佐渡山、田中

### 1. 会長挨拶

青木会長より挨拶がなされた。

### 2. 名誉会員紹介

田中正明名誉会員と佐渡山安彦名誉会員の紹介がなされ、両氏からご挨拶を頂いた。

### 3. 平成 21 年度第 2 回理事会議事録の承認

（寺内本部副事務局長）

平成 21 年度第 2 回理事会の議事録案が示され、一部修正の後承認された。

### 【審議事項】

### 4. 平成 21 年度秋季企画大会について

（古屋企画委員）

古屋理事より、21 年度秋季企画大会のテーマを「Simulation デザイン知 Prototyping 工学とデザイン（仮）」とする旨の説明があり、審議の結果、大会テーマが承認された。

### 5. 第 56 回春季研究発表大会の発表予定数と、グッドプレゼンテーション賞の実施状況について

（工藤概要集編集委員）

工藤概要集編集委員より、第 56 回春

季研究発表大会の発表予定数が、195 件である旨の報告がなされ、発表予定者のキャンセルとその理由について説明があった。またグッドプレゼンテーション賞選考の実施状況について説明がなされた。審議の結果、昨年度と同様の方法で選考を行うことが承認された。

### 6. 学会へのアップルオンキャンパス (AoC) 導入について

（工藤理事）

工藤理事より、会員へのサービス向上を目的として、学会としてアップルオンキャンパス (AoC) プログラムを導入してはどうかとの提案がなされた。審議の結果、本部事務局で導入の検討を継続することとなった。

### 7. 選挙管理委員の選出

（國澤本部事務局長）

國澤本部事務局長より、選挙管理委員長の選出が求められ、審議の結果、選挙管理委員長を小林昭世理事とすることが承認された。

### 8. 共催依頼について

（青木会長・蓮見副会長）

青木会長より「色彩情報シンポジウム in 長野」への共催依頼が、また蓮見副会長より「プロダクトデザイン 商品開発にかかわるすべての人へ」の刊行記念イベントへの共催依頼がなされている旨の報告があった。審議の結果、両件への共催が承認された。

### 9. 会員の移動について

（小野本部事務局幹事）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会：正会員 18 名（うち外国人 4 名）]、退会：正会員 8 名（うち外国人 2 名）] が承認された。

### 【報告事項】

### 10. デザイン理論・方法論研究部会の活動報告

（松岡主査）

松岡主査より、慶應義塾大学理工学

部矢上キャンパスにおいて開催された計 4 回の「デザイン理論・方法論研究部会の活動「デザイン塾」について報告があった。

### 11. 第 2 支部・教育部会合同セミナー「これからのデザイン教育を考える」の案内

（君島第二支部長）

君島第二支部長より、7 月 11 日に開催する第二支部・教育部会の合同セミナーの内容について報告があった。

### 12. 芸術学関連学会連合第 4 回公開シンポジウム

（黒川理事）

黒川理事より、6 月 13 日に行われた芸術学関連学会連合・日本学術会議第 1 部会主催の第 4 回公開シンポジウムの監査依頼がなされた。

### 13. 学会各賞候補者の推薦

（松岡担当理事）

松岡担当理事より、学会各賞候補者を 7 月 31 日までに推薦頂くよう要請がなされた。

記録：寺内

## 平成 21 年度第 4 回理事会議事録

日時：平成 21 年 10 月 3 日（土）  
15：30～17：08  
場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス会議室  
出席者：青木（弘）、尾登、杉山、  
梨原、野口、古屋、國澤、  
寺内  
委任状出席：蓮見、河原林、山中  
欠席：長谷、渡辺

### 1. 会長挨拶

青木会長より挨拶があった。

### 2. 平成 21 年度第 3 回理事会議事録の承認

（寺内本部副事務局長）

平成 21 年度第 3 回理事会の議事録案が示され、一部加筆のうえ承認された。

### 【審議事項】

#### 3. 学会各賞選考結果について

(青木学会各賞選考委員)

青木学会各賞選考委員より、資料に基づいて、平成21年度学会各賞の選考経過と選考結果について報告があった。審議の結果、原案通り年間論文賞1件、年間作品賞1件とすることが承認された。

#### 4. IASDR について

(杉山 IASDR 担当特設理事)

杉山 IASDR 担当特設理事より、ADC/IASDR のこれまでの経緯についての説明があり、第5回 IASDR (2013 年開催) を日本で開催するか否かについて意見が求められた。審議の結果、第5回 IASDR を日本で開催する方向で準備を始めることとなった。

#### 5. 平成21年度秋季企画大会について

(古屋企画委員)

古屋企画委員より、資料に基づいて、秋季企画大会のスケジュールや会場について、詳細な説明がなされた。審議の結果、大会スケジュールや会場が原案通り承認された。

#### 6. 共催依頼について

(青木会長)

青木会長より、公立はこだて未来大学より [2nd International Service Innovation Design Conference (ISIDC 2010)] への共催依頼がされている旨の報告があった。審議の結果、ISIDC 2010 への共催が承認された。

#### 7. 会員の移動について

(寺内副本部事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会：正会員19名(うち外国人2名)、賛助会員1件][退会：正会員14名、賛助会員1件、年間購読会員1件][休会：正会員1件]が承認された。

### 【報告事項】

#### 8. 平成22年度春季大会について

(青木会長)

青木会長より、平成22年度春季大会を7月2～24日に、長野大学において開催することとした旨の報告があった。

#### 9. 広告の価格について

(國澤本部事務局長)

國澤本部事務局長より、「学会誌に同梱する印刷物による広告」の価格について検討している旨の報告があった。この際、賛助会員の特典についても検討してはどうかとの意見が出された。そのため引き続き本部事務局で検討することとなった。

#### 10. 学会の会計について

(國澤本部事務局長)

國澤本部事務局長より、学会の会計状況を監査法人および税務署で確認してもらったところ、特段問題ないとの回答が得られた旨が報告された。

#### 11. 第1支部大会について

(梨原第1支部長)

梨原第一支部長より、9月19～21日に公立はこだて未来大学において開催された第1支部の第3回大会について報告があった。

記録：寺内

### 平成21年度第5回理事会議事録

日 時：平成21年11月15日(日)  
12:00～13:00

場 所：拓殖大学文京キャンパス  
C館514室

出席者：青木(弘)、蓮見、尾登、阿部、伊豆、河原林、久保、小林、杉山、田村、長谷、野口、古屋、山中、禹、國澤、寺内、小野

委任状出席：青木(幹)、青木(史)、荒井、岡田、岡本、勝浦、君島、工藤、梨原、原田、降旗、松岡、村上、渡辺

欠 席：五十嵐、黒川、坪郷、生田目、宮崎

#### 1. 会長挨拶

青木会長より挨拶があった。

#### 2. 平成21年度第4回理事会議事録の承認 (寺内副本部事務局長)

平成21年度第4回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

### 【審議事項】

#### 3. 電子化に伴う投稿論文の修正の必要性について

(山中広報委員長)

山中広報委員より、CiNiiに掲載されている論文の投稿者より、図版を非公開にしたいとの申し出があった旨の報告があり、対応について審議がなされた。国立情報学研究所では論文自体を非公開とすることはできないものの、図版を白く隠す修正は可能であることから、当該論文の図版修正を学会として国立情報学研究所に依頼することが了承された。またそれ以外の掲載済論文を対象として、論文の筆頭者に問い合わせを行うこととなり、その対応を広報委員会と論文審査委員会に依頼がなされた。これに関連して、論文投稿規定や論文投稿時の承諾書についても検討を行うこととなった。

#### 4. 平成22年度春季研究発表大会について (禹大会実行委員長)

禹大会実行委員長より、研究発表大会のパンフレットが配布され、開催期間(7月2～4日)と会場についての説明がなされた。また春季研究発表大会で学部生の発表の場を作りたいとの要望が出された。審議の結果、学部生は学生プロポジションで発表してもらうこととなり、その対応を企画委員会に依頼した。

#### 5. 会員の移動について

(小野副本部事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審

議した結果、[入会:正会員2名][退会:正会員1名]が承認された。

### 【報告事項】

#### 6. IASDR 理事会報告

(山中 IASDR 担当理事, 杉山担当理事)

山中担当理事と杉山担当理事より、10月21日にソウルで行われた IASDR 理事会について報告があった。資料に基づいて、メンバーの交代、第3回 IASDR 大会の運営状況、第4回の IASDR 大会の計画、2013年大会の開催地などについて話し合われた旨が報告された。

#### 7. 学会誌編集・出版委員会活動報告

(河原林学会誌編集委員長)

河原林学会誌編集委員長より、資料に基づいて、平成21～22年度の出版計画と進捗状況の報告がなされた。

#### 8. 平成20～21年度活動計画について (青木会長)

青木会長より、計画した平成20～21年度の活動を今年度末までに是非実行してもらいたい旨の要請がなされた。

#### 9. 第五支部平成21年度研究発表会・懇親会報告

(田村第五支部副支部長)

10月24日に、九州産業大学で開催された、第5支部の研究発表大会・懇親会について報告があった。当日の概要集が配布され、全研究発表37件のうち、25件が非会員の発表であること、学生が6件の発表を行ったことなどが報告された。

#### 10. 第2支部・教育部会合同セミナーの案内

(君島第二支部長(代)伊豆副支部長)

君島第二支部長の代理として、伊豆副支部長より、第2支部では日本デザイン学会教育部会との合同セミナーを、12月5日に開催する旨の報告があった。

記録: 寺内

## 平成21年度学会各賞 選考結果報告

学会各賞選考委員会  
委員長 宮崎 清

本年度学会各賞選考に関する選考について、ご報告いたします。

### 【選考経過】

①本委員会委員に昨年度刊行の学会誌一式を事務局より送付し、改めて眼を通すよう依頼した。  
②会員、論文審査委員会委員、各賞選考委員会委員から本委員会に下記の推薦が寄せられた。

・年間優秀論文賞候補 10件

・年間作品賞候補 2件

③上記候補の個々につき3名の査読・審査委員を本選考委員会委員のなかから選考し、事由を付した選考結果を、書面にて本委員会委員長に提出するよう依頼した。

④委員長は寄せられた選考事由書一覧を作成・配布するとともに、個々の件に査読・審査委員のすべてが合と判断したものを本委員会による最終選考とすることを諮り、委員全員の了承を得た。

### 【選考結果】

・年間優秀論文賞: 針貝 綾

「初期ユニット家具シリーズ: ブルーノ・パウルの「タイプ家具」～ミュンヘン手工芸連合工房における低価格家具生産の試みと規格化の萌芽～」  
論文集55巻4号掲載

事由: ユニット家具を調査対象に掲げ、近代デザイン史の中核的テーマ

である工業化とデザインの関連を、ミュンヘン手工芸連合工房の資料に準拠して解析している点が評価される。

・年間作品賞: 西川 潔

「公共サインの研究～つくば市を事例として～」

作品集14号掲載

事由: 認知性・ユニバーサル性などサインシステムとして必須の条件を満たしているだけでなくアートポストによって訪問者に印象を残すものとなっており、作品としての新規性、品位が創出されている。

平成21年10月1日

平成21年度学会各賞選考委員会

委員長 宮崎 清

委員 青木弘行

庄子晃子

杉山和雄

鈴木 邁

中嶋猛夫

長谷高史

原田 昭

松岡由幸

宮内 哲

森 典彦

### 自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、至急登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

## 第2支部活動報告（第2報）

第2支部長 君島昌之

平成21年12月4日（土）、前回につき、日本デザイン専門学校を会場として、日本デザイン学会第二支部の2009年度第2回活動「第2支部・教育部会合同セミナー：これからのデザイン教育を考える・第2回」が開催されました。本活動は、教育部会との合同企画として開かれ、デザインに関わる研究・教育者（横浜国立大学、八戸工業大学、文化女子大学、東京都立工芸高等学校、女子美術大学、東京成徳大学、日本デザイン専門学校、村内美術館）、企業関係者（株式会社東芝、日産自動車株式会社）、学生（静岡文化芸術大学）をはじめとする20名の方々にご参加いただきました。

伊豆副支部長による開会挨拶の後、グラフィックデザイナー永井裕明氏（(株)NG、アート・ディレクター）より「グラフィックデザインの現場から教育を考える～マッチ箱から飛行機まで～」として、これまでのグラフィックデザイン経験から後輩に残したい言葉として、13のキーワードを中心とした講演をいただきました。

その後、支部長の君島より「教育部会活動（21世紀のデザイン教育を考える）報告」として、消費者のニーズや価値観の大きく変化する時代に向けた、デザイン教育に向けた問題提起をしました。

ディスカッションにおいては、デザインにおけるコミュニケーションのあり方、後輩デザイナーに対する教育などについて活発な議論が行われました。

お忙しいなか本セミナーにご参加をいただきました皆様、会場設営にご尽力をいただきました金子武志先生をはじめとする日本デザイン専門学校の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



永井裕明氏による講演の様子



君島支部長による講演の様子



会場の様子

## 第4支部活動報告

第4支部長 坪郷英彦

第4支部ではこれまでも研究会が行われていたが、大阪、京都を中心としたものであり中国地域での情報交換を目的として企画した。まず、公の記録に残すため、発表テーマと発表者を示し概要を示す。また終了後の意見交換会で支部研究会の開催の必要性も多く寄せられたので、その一部を示したい。第4支部

（近畿・中国・四国地区）研究会

日時：平成21年10月17日（土）

13時30分～18時

会場：福山大学社会連携研究推進センター  
（宮地茂記念館） 広島県福山市

発表者とテーマ一覧

◆「型而工場の室内デザイン活動：

蔵田周忠設計の住宅を中心に」

敷田弘子（東京藝術大学大学美術館）、  
アンヌ・ゴッソ（フランス国立科学研究センター・外務省 在日共同研究所  
所属研究員）

◆「メンタルモデル構築レベル把握手法の提案」

田中観自（和歌山大学大学院システム工学研究科 修士1年）、山岡俊樹（和歌山大学）

◆「感性データの分析方法の一考察」

山岡俊樹（和歌山大学システム工学部）

◆「Structural モデルと Functional モ

デルを用いた問題解決に関する考察」

山田雄紀（和歌山大学大学院システム工学研究科修士1年）、溝口菜見（和歌山大学）、密谷謙士朗（同左）、山岡俊樹（同左）

◆「紙による多面体造形実習（高校デザイン教育の現場から）」

山形泰一（岡山県立岡山工業高等学校デザイン科）

◆「ユニバーサル囲碁セットの開発」

大田尚作（神戸芸術工科大学）、齋木崇人（同左）、相良二朗（同左）、曾和具之（同左）、見寺貞子（同左）、谷岡一郎（大阪商業大学アミューズメント産業研究所）、松村政樹（同左）、孫聆範（同左）、森野節男（関西棋院）、湯川光久（同左）

◆「パワーポイントによるインタフェースデザイン開発手法の提案」

井上勝雄（広島国際大学）、岸本寛之（広島国際大学大学院）

◆「祭りはゲームかスポーツか-伝統的祭りの分析と象徴的道具について-」

坪郷英彦（山口大学）

◆「実践的なデザインの教育における効果」

伏見清香（広島国際学院大学）

参加者は20名ほどであったが、中国地域だけでなく和歌山、神戸からの参加もあり、活発な発表、質疑応答が一人20分の持ち時間の中で行われた。発表終了後、参加者間の意見交換を行っ

た。その中で、大学間の研究者交流だけでなく、各地域に多い専門学校や高校の研究者を交えた研究会にしたかどうか、学生にとって研究発表は良い教育の場であるから、学部学生を含めた研究会の場にしたかどうかという意見が出た。また、全国大会と違うメリットとして専門外から思いがけない質問が出て参考になるや、ゆっくり質疑応答が出来る、地域の情報交換が出来るが挙げられた。

デザイン学会全体が大きな組織になり、専門性が深まり、春季大会も自分の専門分野内での交流になりがちの中で、学会が基本的に持つサロンの様相を会員が求めているように感じた。

会場は福山駅前の福山大学サテライト施設（宮地茂記念館）であったが、利便性の良さも参加者から好評であった。準備、運営に関して福山大学藤原美樹先生にたいへんお世話になったことを付記しておく。



研究会の様子

## 第5支部活動報告

第5支部長 青木幹太

第5支部では、平成21年10月24日（土）、九州産業大学にて「日本デザイン学会第5支部 平成21年度研究発表会・懇親会」を開催しました。この研究発表会・懇親会は、支部内の大学間や大学と企業間、他大学の学生間の交流促進、また支部内学生のデザイン研究や学会活動の参加促進などを目的に平成18年より開催し、本年度で4年目を迎えました。

本年度の参加者は、会員21名、非会

員（学生含む）65名の計86名でした。研究会は、口頭研究発表と学生発表（パネル・口頭）で構成され、口頭研究発表は全国大会に準じた規定で、2ページの発表概要集を編集し、発表当日の進行は全国大会と同様の形式で行っています。口頭研究発表は、昨年より9件増えて37件になり、毎年、規模が拡大しています。37件のうち28件が大学院生の発表で、9件が大学教員の発表でした。今年も昨年と同様に和歌山大学や名古屋大学という遠方からの研究発表があり、支部の研究発表会を盛り上げて頂きました。また学生発表（口頭・パネル）は7件で、口頭研究発表会場やその外側通路を利用して行ったこともあり、ほとんどの参加者が詰めかけ学生の研究発表を熱心に聞き、活発な質疑応答がなされました。研究会後には懇親会を開催し、大学の教員や学生の皆さん32名が参加し研究発表会の心地よい疲れを癒しながら、あちこちでコミュニケーションの輪ができて和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めることができました。

本研究発表会の内容は「日本デザイン学会第5支部 平成21年度研究発表会概要集」にまとめています。本年度の研究発表会・懇親会をはじめ第5支部の活動を推進して頂いた第5支部の理事・幹事の皆様、また研究発表会・懇親会の実行委員の皆様に、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。



学生発表の様子



研究発表会の様子



懇親会の様子

### 住所変更はお済ですか？

春は、住所不明で戻ってくる郵便物が増えます。住所変更は確実にお願いします（お知り合いの方で、該当する方がおられましたら、この旨をお伝えください）。

届出は文書にてお願いします。転居される方は、FAXまたは綴じ込みの「入会届け」に朱書きで「変更届」と書き添えて、事務局までご連絡下さい。HPにも様式が掲載されておりますのでご利用ください。退会等の届出も必ず文書にてお願いします。

本部事務局

## 献本御礼

### ◆寄贈図書

- ・森正洋の全仕事, 森正洋デザイン研究所編, ランダムハウス講談社
- ・デザインに人生を賭ける, 栄久庵憲司, 春秋社

### ◆機関誌・会報

- ・木の文化FORUM 第6号, 木の文化フォーラム編集委員会, 2009
- ・Progress in Informations No.6, NII (National Institute Informatics), 2009
- ・J-STAGE NEWS No.20, 科学技術振興機構, 2009

### ◆予稿集・論文集・報告書

- ・宮城大学事業構想学部紀要宮城大学事業構想学部編, 2008
- ・四国大学紀要 人文・社会科学編 No.32, 自然科学編No.29, 2009
- ・第3回色彩情報シンポジウム in 長野～産学官連携に活用する「色彩・デザイン・感性」～, 日本色彩学会/日本デザイン学会/長野県デザイン振興会/(財)上田繊維科学振興会, 2009
- ・RISS/IR3S/SDC シンポジウム成果報告書(持続可能なデザインとは), 文部科学省科学技術振興調査費(戦略的研究拠点育成)プロジェクト, 2009

## 催し物

### ■ フランク・ブラングイン展 ■

### ◆会期

2010年2月23日(火)～5月30日(日)

### ◆休館日

月曜日(3/22, 5/3は開館, 3/23は休館)

### ◆開館時間

9:30～17:30

(毎週金曜日は20:00まで)

### ◆入場料

一般:1,500円, 大学生:1,200円,  
高校生:700円

### ◆会場・問い合わせ

国立西洋美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

URL: <http://www.fb2010.jp>

## 会員の移動

### ◆平成21年度第4回理事会承認

2009.10.03

#### <新入会>

\*正会員 17名(内, 外国人 2名)

赤井 愛 浅香 嵩  
内田 康之 柏樹 良  
河合 慎介 北川 智昭  
塚田 敦史 月岡 正明  
登内 徹夫 廣田 真理  
三崎 大地 森部 陽一郎  
山田 隆人 渡辺 一生  
渡邊 英徳 李 奉女

Cheng-Lung YU

\*賛助会員 1件

(株) トゥールズインターナショナル

#### <退会>

\*正会員 14名

池田 宙 小野 博通  
小野寺 強 小原 二郎  
駒込 大輔 西須 幸栄  
鈴木 弘子 林 摩梨花  
廣嶋 まい 三角 謙太郎  
山本 輝之 渡辺 允康  
渡辺 佑介 松田 大輔

\*賛助会員 1件

四国大学短期大学部 生活科学科 生活デザイン専攻

\*年間購読会員 1件

京都嵯峨芸術大学 附属図書館

#### <休会>

\*正会員 1名

翁長 洋子

### ◆平成21年度第5回理事会承認

2009.11.15

#### <新入会>

\*正会員 5名

岩瀬 直樹 木村 友昭  
小地沢 将之 三島 貴之  
森 啓彰

#### <退会>

\*正会員 2名

岩月 和人 真弓 和也

### ◆平成21年度第6回理事会承認

2009.12.26

#### <新入会>

\*正会員 6名(内, 外国人3名)

稲田 成貴 奥村 二郎  
田中 滋 PRABU WARDONO  
Mei-Huang Hsieh  
Yu-Chin Hsiao

\*年間購読会員 1件

大妻女子大学 多摩校図書館

#### <退会>

\*正会員 8名

遠藤 孝則 川崎 博章  
菅原 正博 関 直之  
丹 聡子 村上 輝義  
矢古宇 宏 吉田 健二

#### <休会>

\*正会員 1名

池田 マイケル

## 事務局から会費自動引き落としのお知らせ

2010年(平成22年)度の会費は5月6日に引き落としとなります。

引き落とし額: 正会員年額 13,000円

年間購読会員年額 25,000円

賛助会員年額 1口10,000円(3口以上)

通帳には, 銀行により[SMBS(JSSD カイヒ), SMBC(シンパン), (SMBC)自払]のいずれかで記載されております。会員各位にて, ご確認下さい。

なお, 領収証の発行が必要な方は, 事務局までご一報ください。領収証発行の登録手続きをいたします(登録は初回のみ。以後は必要ありません)。

※引き落とし口座の変更をご希望の方は本部事務局へご連絡ください。

本部事務局

日本デザイン学会 JAPANESE SOCIETY FOR SCIENCE OF DESIGN

# JSSD 第57回 全国大会 春季研究発表大会

The 57th Annual Conference of JSSD

2010年7月2日(金) ~ 7月4日(日)

## 「和の文化」

長野県下ではじめて「日本デザイン学会」第57回  
春季研究発表大会を真田幸村のゆかりの地である  
上田、長野大学で開催することになりました。

多くの会員の皆様および企業の皆様、一般の皆様  
のご参加を心よりお待ちしております。

## と「デザイン」

～ 伝統と現在・未来～

研究発表申込受付期間：  
平成22年3月24日(水)～4月21日(水)

※表記のとおり、例年より遅くなる予定です。  
※原則として期限を過ぎた申込は受け付けできませんの  
で、ご承知おき下さい。

場所： **長野大学**  
Nagano University

〒386-1298  
長野県上田市下之郷 658-1

世界の  
デザイン科学を  
リードする



日本デザイン学会 JSSD

主催：日本デザイン学会 URL：www.jssd.jp/  
共催：長野大学 URL：www.nagano.ac.jp/

Japanese  
Society  
for  
the  
Science  
of  
Design

日本デザイン学会 第57回 春季研究発表大会  
大会実行委員会  
事務局  
E-mail: jssd@nagano.ac.jp  
TEL: 0268-39-0180  
FAX: 0268-39-0192  
〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1  
長野大学企業情報学部 情報デザイン研究室

大会会長 嶋田 力夫 (長野大学 学長)

大会実行委員会 委員長 禹 在勇 (長野大学)  
副委員長 田中 法博 (長野大学)  
副委員長 吉良 康宏 (信州大学)  
委員 高橋 進 (長野大学)  
高寺 政行 (信州大学)  
細谷 聡 (信州大学)

## 第57回春季研究発表大会の発表申込に関するお知らせ

発表申込・概要集編集担当：工藤 芳彰、久保 光徳

平成22年7月2日（金）～4日（日）に長野大学で第57回春季大会が催されます。このうち、3日（土）・4日（日）が研究発表大会となります。研究発表の役割は、質疑応答によって得られる新たな視点や知識の獲得にあります。今回も例年どおり、通常の研究発表（口頭発表とポスター発表）の他、研究部会や会員有志が統括する口頭発表（テーマセッション）、優秀な研究発表に対する表彰を設定する予定です。奮ってお申し込み下さい。なお、発表要領や概要フォーマット等の詳細は2月初旬に学会ホームページに掲載の予定です。各自ご確認のほどよろしく申し上げます。

### 発表申込に関する概要

申込受付期間（予定）：平成22年3月24日（水）～4月21日（水）

申込方法：学会ホームページ経由J-Stage利用

発表形式と時間（予定）：口頭発表20分（含む質疑応答）、ポスター発表（1時間）

概要形式：A4・2ページ（英文概要の場合は日本語要約を掲載）

※ 原則として期限を過ぎた申込は受け付けできませんので、ご承知おき下さい。

なお、Web投稿に支障のある方は本部事務局（FAX：03-3301-9319）にご照会ください。

### テーマセッションについて

テーマセッションは、研究部会や会員有志がテーマや発表順等を統括する口頭発表枠です。どの部会が参加しているのか、どのようなテーマが提示されているのかについては、2月中に学会ホームページ上で公開予定です。参加をご希望の方は、専用サイトでの発表申込の際に「発表分野」のプルダウンメニュー中に部会名とテーマが列記される予定ですので、該当するものを選択してください。

### 発表申込後のスケジュール

発表採否の連絡：5月初旬予定

発表日時と会場のお知らせ：5月下旬予定

ホームページ上での概要公開：6月中旬予定

お問い合わせ先：jssd@id.takushoku-u.ac.jp（工藤）

以上

## 【大学院生限定】 年会費・入会金減免キャンペーンのお知らせ

日本デザイン学会  
会長 青木弘行

日本デザイン学会では、デザインに関わる多くの皆様がより気軽に、より活発に学会活動に参加して頂けるよう、現在、新たな会員制度を検討しています。

その一環として、次の世代を担う若手研究者の育成が急務と考え、まずは大学院生を対象とした「年会費・入会金減免キャンペーン」を開始することにいたしました。

より多くの皆様が学会活動に参加し、学会がさらに多くの方々にとって魅力的なものになればと考えています。

### ■キャンペーン期間

平成22年4月1日から平成24年3月31日の2年間

### ■キャンペーン対象者

平成22年4月1日時点で大学院修士および博士課程に在籍し、新規に入会する学生

\*キャンペーン対象者であっても、キャンペーンを利用せず正会員として入会することも可能です。

\*平成21年度に入会金免除制度を利用して入会した大学院生で、本キャンペーンを利用したい会員は、本部事務局までご連絡ください。

### ■キャンペーン内容

	正会員	キャンペーン利用
入会金	5,000円	0円
年会費	13,000円	6,500円
学会誌	郵送	ウェブで閲覧*

\*所属大学で契約(機関定額制)しているNII論文情報ナビゲータ「サイニイ」で閲覧可能です。  
なお、研究部会参加、口頭発表、学会誌投稿などの諸活動に関しては正会員と同様です。

### ■申込方法

以下の2つを本部事務局まで郵送またはFAXしてください。

- ・入会申込書  
\*裏面の申込書または学会ホームページからダウンロードしてください。
- ・学生証のコピー

### ■注意事項

- ・キャンペーンは、大学院の修士および博士課程に在籍している期間受けられます。ただし、引き続き学生キャンペーンを利用する場合は、毎年行われる学生証確認を必ず行ってください。
- ・年会費の未納が生じた場合、会員としての資格は失効されます。
- ・理事会の承認が得られず、申込を断る場合がございます。

# 日本デザイン学会 入会申込書

## 正会員 年間購読会員 研究部会

正会員として入会を希望される方は「正会員・入会申込書」を、年間購読会員として入会を希望される方は「年間購読会員・入会申込書」をお使いください。

なお、正会員の場合には、研究部会にも入会することができます。研究部会申込書はHPよりダウンロードしてご利用ください。

### 記入上の注意とお願い

- この申込書は、楷書でていねいにお書き下さい。
- 正会員の現住所は、役員選挙や地域活動の際の基準[所属地域]となります。ご希望により、この[所属地域]を勤務先所在地に変更することができます。その場合には、通信欄にその旨を記載して下さい。
- 正会員入会に際して、推薦あるいは紹介していただいた方がございましたら、「正会員・入会申込書」の「推薦者・紹介者」欄にご記入下さい。  
※学生の場合は「推薦者・紹介者」欄に推薦者として指導教官の名前をご記入下さい。
- 正会員の場合、「入会金5,000円、年会費13,000円、合計18,000円」、年間購読会員の場合には「年間購読会費25,000円」が必要となります。納入は理事会承認後となります。本部事務局からの連絡に従って納入して下さい。
- 申込書が足りない場合には、本申込書をコピーしてお使いいただき、封書にて送付して下さい。
- 入会後に、住所や勤務先などに変更がございましたら、この申込書または学会誌送付封筒の裏面の様式をお使い下さい。この申込書をお使いになる際には、表面に「変更」と朱書きし、変更項目と太枠内の会員番号(封筒の宛名ラベルに記載してある番号)を記入してお送り下さい。

## JSSD 正会員・入会申込書

会員番号 - -

フリガナ		学会誌送付先	現住所	勤務先
英文		*学会からのお知らせを <b>ご希望でない方</b> は、左の□に✓を入れてください。		
氏名		E-mail	*携帯不可 <input type="checkbox"/>	
生年月日	19 年 月 日	〒	住所	
最終学歴	西暦 年 月 卒業・修了	TEL	-	-
専門分野	*なるべく具体的に記入ください。	FAX	-	-
推薦者・紹介者	*いる場合は記入ください。	機関名		
通信欄		所属		
		役職		
		所在地	〒	
		TEL	-	-
		FAX	-	-

## JSSD 年会費・入会金減免対象者用入会申込書

会員番号 - -

フリガナ		学会資料送付先	現住所	在学先
英文		*学会からのお知らせを <b>ご希望でない方</b> は、左の□に✓を入れてください。		
氏名		E-mail	*携帯不可 <input type="checkbox"/>	
生年月日	19 年 月 日	〒	住所	
最終学歴	西暦 年 月 卒業・修了	TEL	-	-
専門分野	*なるべく具体的に記入ください。	FAX	-	-
担当・指導教員	*必ずご記入ください。	学校名		
通信欄		学科・専攻名		
		学年	修士・博士	年
		所在地	〒	
		TEL	-	-
		FAX	-	-

## JSSD 年間購読会員・入会申込書

会員番号 年 -

フリガナ	
申込者名	(印)
申込者住所	〒
	TEL - - 内線 ( ) / FAX - -
	E-mail (携帯不可) <input type="checkbox"/>
学会誌送付先	〒
	TEL - - 内線 ( ) / FAX - -
	年間購読会員会費 支払方法
通信欄	